

労働災害発生状況の概要

《事故の型別災害発生状況》

鳥取県内で発生した9月末現在の労働災害における事故の型別の発生状況を見ると、「転倒」が最も多く32.4%を占めており、次いで「墜落・転落」が16.2%、「はさまれ・巻き込まれ」が12.0%、「動作の反動・無理な動作」が8.7%、「切れ・こすれ」が6.7%、「激突」が5.0%、「飛来・落下」が4.7%、「交通事故」が4.2%などとなっています。（新型コロナウイルスによる被災を除く。以下同じ）

《被災年齢別災害発生状況》

鳥取県内で発生した9月末現在の労働災害における年齢別の発生状況を見ると、「60歳以上」が最も多く33.2%を占めており、次いで「50～59歳」が26.3%、「40～49歳」が18.2%、「20～29歳」が11.5%、「30～39歳」が9.8%、「19歳以下」が1.1%となっている。

年齢が高い労働者が多く被災している状況にあります。

別添の「働く高齢者の特性に配慮した エイジフレンドリーな職場づくりを進めましょう」を参考に、高年齢労働者あその体力の状況の把握し、高年齢労働者の状況に応じた業務の提供や、高齢者でも安全に働き続けることができるよう、施設、設備、装置等の改善、高年齢労働者の特性を考慮した作業内容等の見直し等を行ってください。

厚生労働省 HP 「高年齢労働者の安全衛生対策について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/newpage_00007.html

厚生労働省 HP 「高年齢労働者の活躍促進のための安全衛生対策 先進企業の取組事例集」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000156041.html>

《転倒災害》

鳥取県内で発生した9月末現在の労働災害における転倒災害は116件（全体の32.4%を占める。）となっており、業種別にみると、「商業」が最も多く発生していて全体の27.6%を占め、以下、「保健衛生業」（同17.2%）、「製造業」（同16.4%）、「運輸交通業」（同8.6%）、「接客娯楽業」及び「清掃・と畜業」（同、それぞれ6.9%）と続いています。

災害発生月別にみると、「2月」が最も多く全体の24.1%を占めており、次いで「4月」が16.4%となっています。これ以外の月はおよそ10件前後で推移している状況にあります。

なお、1月、2月に積雪・凍結による転倒災害が多発している状況にあります。

別添の「降積雪期における転倒災害を防止しよう」を参考に、冬季の積雪・凍結による転倒災害の防止に努めてください。（リーフレット裏面に、労働災害防止にあたり留意すべき事項がありますので、労働者への周知をお願いします。）

災害発生時間別にみると、「午前8時」、「午前10時台」が最も多く、それぞれ12.1%を占めており、続いて「11時台」の10.3%、「9時台」の8.6%となっています。

午前中（6時台から11時台）の被災が多くなっていますが（全体の50%）、1月・2月に積雪・凍結により転倒災害が多発しており、これにより出勤時及び出勤後の作業時に災害が発生しているものと思料されます。

被災による傷病名をみると、「骨折」が全体の72.4%を占め、休業見込日数別にみると、休業見込1月以上の重篤な災害が全体の50.9%を占めている状況にあります。

転倒災害の発生現象別の状況は、「滑る」が最も多く、全体の48.3%を占めており、次いで「つまづく」が20.7%、「引っ掛かる」が14.7%などとなっています。

また、「滑る」のうち、69.6%は床が濡れているなど滑りやすい環境下において被災しており、その内、積雪・凍結により転倒したものが59.0%を占めています。前述のとおり、1月、2月に積雪・凍結による転倒災害が多発している状況にあります。

「つまづく」については、「用具・台車・置荷」によりつまづいたものが50%、「通路・階段」によるものが25%、「段差」によるものが12.5%などとなっています。

「引っ掛かる」については、「用具・置荷・材料」により引っ掛かったものが76.5%、「通路・グレーチング」によるものが11.8%、「段差」によるものが5.9%などとなっています。

別添の「事業主の皆さまへ 安全・安心な職場づくり」を参考に、職場における転倒災害の防止に努めてください。

厚生労働省 HP「転倒予防・腰痛予防の取組」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000111055.html>

《墜落・転落災害》

鳥取県内で発生した9月末現在の労働災害における墜落・転落災害は58件(全体の16.2%を占める。)となっており、業種別にみると、「建設業」が最も多く発生していて全体の24.1%を占め、以下、「運輸交通業」(同17.2%)、「商業」(同13.8%)、「製造業」(同12.1%)、「清掃・と畜業」(同6.9%)などと続いています。

どこから墜落・転落し被災したかをみると、「トラック」からが最も多く、24.1%を占め、次いで「はしご」及び「脚立」からがそれぞれ13.8%、「階段」及び「足場」からがそれぞれ8.6%、「屋根」及び「側溝」からがそれぞれ6.9%などとなっています。なお、建設業において、「屋根」からの墜落で1名死亡者が発生しています。

はしご、脚立からの墜落災害が多く発生している状況にありますので、別添「はしご、脚立からの墜落・転落防止」を参考に、はしご・脚立からの労働災害の防止に努めてください。

《製造業》

鳥取県内の製造業で発生した9月末現在の労働災害における事故の型別の発生状況をみると、「転倒」が最も多く25%を占めており、次いで「はさまれ・巻き込まれ」が21.1%、「飛来・落下」が13.2%、「切れ・こすれ」が10.5%、「墜落・転落」及び「動作の反動・無理な動作」がそれぞれ9.2%となっています。

「はさまれ・巻き込まれ」災害において、「加工作業中」に被災したものが50%、「清掃中」及び「修理・交換・調整中」に被災したものがそれぞれ18.8%、「荷の移動・荷降し中」に被災したものが12.5%となっています。

また、「はさまれ・巻き込まれ」災害において、機械を止めないで手を出す動作を行って、あるいは、材料が倒れるなど咄嗟に加工部分に手を出して被災した災害が68.8%を占めています。

《建設業》

鳥取県内の建設業で発生した9月末現在の労働災害における事故の型別の発生状況をみると、「墜落・転落」(死亡者1名)が最も多く29.2%を占めており、次いで「切れ・こすれ」が12.5%、「転倒」及び「はさまれ・巻き込まれ」がそれぞれ10.4%、「激突」及び「交通事故」がそれぞれ8.3%となっています。

どこから墜落・転落し被災したかをみると、「足場」及び「屋根(死亡者1名)」がそれぞれ28.6%、「トラック」、「はしご」及び「脚立」がそれぞれ14.3%とな

っています。

なお、「足場」からの被災では、足場を組み立て中に被災したものが 50%、うま足場で作業中片側が傾き墜落したものが 1 件などとなっています。

「屋根」からの被災では、屋根上での作業中に被災したものが 75%、屋根から降りようとして足を踏み外したものが 25%となっており、スレート屋根を踏み抜く死亡災害が発生しています。

「はしご」からの被災は、すべてはしごを昇降中に発生しており、「脚立」では、すべて脚立に乗って作業中にバランスを崩して被災しています。

厚生労働省 HP「建設業における安全対策」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000207439.html>

厚生労働省 HP「足場からの総合的な墜落・転落防止対策について」

<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/enzen/120309-1.html>

《道路貨物運送業》

鳥取県内の道路貨物運送業で発生した 9 月末現在の労働災害における事故の型別の発生状況をみると、「墜落・転落」が最も多く 30.3%を占めており、次いで「転倒」及び「激突」がそれぞれ 18.2%、「はさまれ・巻き込まれ」及び「動作の反動・無理な動作」がそれぞれ 12.1%となっています。なお、交通事故による労働災害は発生していません。

どこから墜落・転落し被災したかをみると、「トラック」からが 90%、「移動式クレーン」からが 10%を占めています。

荷台上で「作業中・荷締中・移動中」にトラックから墜落したものが 66.7%、「荷台への昇降中」に墜落したものが 22.2%、「荷降し中」に墜落したものが 11.1%となっており、移動式クレーンにあっては、当該クレーンの上を移動中に墜落しています。

厚生労働省 HP「陸上貨物運送事業における荷役災害防止対策について」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000123265.html>

厚生労働省 HP「荷役作業時の労働災害を防止しましょう」

<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/enzen/0909-1.html>

《林業》

鳥取県内の林業で発生した 9 月末現在の労働災害における事故の型別の発生

状況を見ると、「転倒」が最も多く 37.5%を占めており、次いで「墜落・転落」及び「切れ・こすれ」がそれぞれ 25%、「激突され」が 12.5%となっています。

「墜落・転落」災害は、はしごを上っていて足を滑らせた、斜面を降りていて転落したものとなっており、「切れ・こすれ」災害は、チェーンソーで伐木作業中に足が滑りチェーンソーに接触、ナタで細径の雑木を伐採する際ナタの刃が雑木の幹で滑り体に当たったものとなっています。

厚生労働省 HP 「伐木作業・林業における安全対策」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000207439_00003.html

《第三次産業》

鳥取県内の第三次産業で発生した 9 月末現在の労働災害において、どこから墜落・転落し被災したかをみると、「階段」及び「脚立」からがそれぞれ 18.2%、「トラック」、「はしご」及び「側溝」からがそれぞれ 13.6%などとなっています

「階段」からの被災では、被災により全て骨折しており、被災による休業見込日数は「1 月以上」が全体の 75%を占めています。

階段を昇降中に転落したものが 75%、階段上での動きでバランスを崩し転落したものが 25%となっています。

「脚立」からの被災では、被災により全体の 50%が骨折しており、被災による休業見込日数は「1 月以上」が全体の 75%を占めています。

脚立に乗って作業中に足を滑らせたたりバランスを崩すなどで墜落したものが 75%、降りる際に足を踏み外したものが 25%となっています。

「トラック」からの被災では、被災による休業見込日数は「1 月以上」が全体の 50%を占めています。

荷台に乗る際に転落したものが 66.7%、荷台上で作業中に荷台の端から落ちたものが 33.3%となっています。

「はしご」からの被災では、被災により全体の 66.7%が骨折しており、被災による休業見込日数は「1 月以上」が全体の 66.7%を占めています。

はしごに乗り作業中にはしごが滑り、はしごとともに落ちた災害や、はしごを降りる際バランスを崩して落ちた災害が発生しています。

「側溝」からの被災では、被災により全体の 66.7%が骨折しており、被災による休業見込日数は、すべて「1 月以上」となっています。

すべて作業中に溝へ落ちた災害で、作業へ集中し、溝の認識が薄れていたものと思料されます。

厚生労働省 HP「第三次産業の労働災害防止対策について」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000053858.html>

《小売業》

鳥取県内の小売業で発生した9月末現在の労働災害における事故の型別の発生状況をみると、「転倒」が最も多く53.3%を占めており、次いで「墜落・転落」が13.3%、「はさまれ・巻き込まれ」が8.9%、「飛来・落下」が6.7%などとなっています。

厚生労働省 HP「安全な店舗づくりの進め方」

<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/enzen/110902-1.html>

厚生労働省 HP「小売業における危険の見える化」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000058407.html>

《社会福祉施設》

鳥取県内の社会福祉施設で発生した9月末現在の労働災害における事故の型別の発生状況をみると、「転倒」が最も多く42.9%を占めており、次いで「動作の反動・無理な動作」が22.9%、「高温・低温の物との接触」及び「交通労働」がそれぞれ8.6%などとなっています。

「動作の反動・無理な動作」災害は、移乗の際利用者の体を動かすなどの時に被災したものが50%、しゃがんで物を取り立ち上がった際に被災するなど自身の行動により被災したものが37.5%、ベッドに寝ている利用者の体位を変換する際に被災したものが12.5%となっています。

厚生労働省 HP「社会福祉施設における安全衛生対策」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000075093.html>

厚生労働省 HP「社会福祉施設を運営する事業主の皆さまへ 介護・看護作業による腰痛を予防しましょう」

<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/enzen/dl/131025-01.pdf>

厚生労働省 HP「飲食店を営む皆さまへ 労働災害の防止のためのポイント」

<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/enzen/dl/131018-01.pdf>

厚生労働省 HP「ビルメンテナンス業における労働災害防止のためのガイドライン」
<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/8812-1.html>

厚生労働省 HP「警備業における労働災害防止のためのガイドライン」
<https://jsite.mhlw.go.jp/kagoshima-roudoukyoku/var/rev0/0109/0223/2013-0524-2.pdf>

(公社)日本看護協会 HP「看護職の労働安全衛生」
<https://www.nurse.or.jp/nursing/shuroanzen/safety/index.html>